

# JIS

## シリコクロム分析方法一 第2部：クロム定量方法

JIS G 1325-2 : 2013

(JFA/JSA)

平成 25 年 6 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 鉄鋼技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員会長)	佐久間 健 人	高知工科大学
(委員)	磯 村 陽 治	一般社団法人日本鉄道施設協会
	岩 本 佐 利	一般社団法人日本電機工業会
	宇 治 公 隆	首都大学東京
	太 田 幸 男	高圧ガス保安協会
	緒 方 隆 昌	一般社団法人日本非破壊検査協会 (川崎重工業株式会社)
	岡 崎 雅 之	公益社団法人自動車技術会 (株式会社本田技術研究所)
	北 田 博 重	一般財団法人日本海事協会
	吉 良 雅 治	一般社団法人日本産業機械工業会
	櫛 田 宏 一	JFE スチール株式会社
	小 林 美寿夫	ステンレス協会
	田 中 龍 彦	東京理科大学
	千 葉 光 一	独立行政法人産業技術総合研究所
	都 祭 弘 幸	社団法人日本建設業連合会 (五洋建設株式会社)
	長 井 寿	独立行政法人物質・材料研究機構
	芳 山 純一郎	新日鐵住金株式会社

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 25.6.20

官 報 公 示：平成 25.6.20

原 案 作 成 者：日本フェロアロイ協会

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-5645-7181)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：鉄鋼技術専門委員会 (委員会長 佐久間 健人)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 一般事項	1
4 定量方法の区分	1
5 ペルオキシ二硫酸アンモニウム酸化硫酸アンモニウム鉄 (II)・過マンガン酸カリウム逆滴定法	2
5.1 要旨	2
5.2 試薬	2
5.3 試料はかりとり量	2
5.4 操作	2
5.5 空試験	4
5.6 計算	4
5.7 許容差	4
6 ペルオキシ二硫酸アンモニウム酸化硫酸アンモニウム鉄 (II)・ニクロム酸カリウム逆滴定法	4
6.1 要旨	4
6.2 試薬	4
6.3 試料はかりとり量	5
6.4 操作	5
6.5 空試験	5
6.6 計算	5
6.7 許容差	6
7 ペルオキシ二硫酸アンモニウム酸化硫酸アンモニウム鉄 (II) 電位差滴定法	6
7.1 要旨	6
7.2 試薬	6
7.3 装置及び器具	6
7.4 試料はかりとり量	6
7.5 操作	7
7.6 空試験	7
7.7 計算	7
7.8 許容差	7
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	9
解 説	12